

引きこもりの若者らの就労支援などを行っているNPO法人「アンガー・ジュエス・よこすか」(横須賀市上町)はこのほど、4年前から運営している上町の「はるかぜ書店」内に喫茶店「harucafe」をオープンした。

若者らが幅広い仕事を体験できることを目指し、新たな就労の場を設けた。アンガー・ジュエスの滝田衛理事長は「たくさんの人がつながり合える交流の場になってほしい」と話している。(服部 エレン)

引きこもりの若者ら支援

新たな就労の場提供

幅広い仕事の経験を

harucafeは、はるかぜ書店の1階部分の半分スペースを活用。同書店で働く引きこもりの若者ら約20人が喫茶店業務などにも携わっている。基本的には5〜8人のスタッフがアンガー・ジュエスのスタッフ3人で日々の接客などに当たる。

喫茶店業務は初めてという岸川泰輔さん(22)は「新しい仕事を覚えるのは大変だけれどやりがいがある。早くコーヒーと紅茶、山形産のりんごジュースで、1杯350円、400円。今後軽食なども取り入れ、メニューの拡大を目指すという。

カフェでは喫茶店業務のほか、アクセサリーなど手作りの046(804)7883。

横須賀で喫茶店オープン



手作り作品を展示・販売できるレンタルボックスも備えた「harucafe」
—横須賀市上町